

(様式 1-3)

福島県(田村市) 帰還・移住等環境整備事業計画 帰還・移住等環境整備事業等個票
令和7年1月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	44	事業名	田村市新病院建設事業		事業番号	(3)-25-1
交付団体		田村市	事業実施主体(直接/間接)		田村市(直接)	
総交付対象事業費		(24,775(千円)) 56,626(千円)	全体事業費		(4,791,000(千円)) 5,245,870(千円)	

帰還・移住等環境整備に関する目標

<現状>

田村市内の旧避難指示区域等(30 km圏内)においては、被災住民の心のケアやうつ病・認知症等の精神医療のニーズが存在する一方で、その受け皿である医療提供体制は脆弱である。市内で精神科・心療内科を標榜し、外来診療を行っている医療機関は、たむら市民病院(田村市船引町)のみであり、精神科デイ・ケア施設は市内及び近隣に存在しない。その結果、精神疾患患者の多くは、市外(主に郡山市内)の医療機関への通院を余儀なくされている状況である。

【令和6年度9月末現在 精神障害・精神医療に関する公的支援対象者数】

○精神障害者保健福祉手帳所持者数

手帳所持者数 田村市全体 292 人(うち旧避難指示区域等 25 人)

→田村市都路町 20 人、常葉町山根地区 3 人、常葉町堀田地区 2 人、船引町横道地区 0 人

○自立支援医療(精神通院医療)受給者数及び通院先の状況

受給者数 田村市全体 527 人(うち旧避難指示区域等 30 人)

→田村市都路町 20 人、常葉町山根地区 5 人、常葉町堀田地区 3 人、船引町横道地区 2 人

受給者の通院先

→田村市内 62 人(11.7%)

→市外 465 人(88.3%)

内訳：郡山市 396 人、三春町 27 人、須賀川市 13 人、福島市 8 人、その他 21 人

事業概要

<本事業で施設を整備する理由>

本市の精神医療体制が脆弱であり、患者の退院後の居場所づくりや社会復帰までの支援を行う施設も存在しない等の理由から、患者の多くが市外への通院を余儀なくされ、患者やその家族にとって大きな負担となっている。

さらに、かねてから長期入院精神障害者の地域移行(地域生活の支援)が求められていることを踏まえ、地域において、総合的に必要な精神・医療ケアを受けられる体制を構築する必要がある、精神科デイ・ケア施設はその中核をなすものである。

上記の背景を踏まえ、たむら市民病院の移転建替にあわせて精神科デイ・ケア施設を整備し、社会復帰や就労支援を目的としたグループ活動や様々なプログラムによるリハビリテーションと外来診療の連携を図ることにより、精神医療体制が強化され、被災住民のこころのケアに寄与する。

<整備内容>

・施設概要：田村市新病院(本体及び付属棟)

建設予定地 田村市船引町船引字屋頭清水地内

敷地面積 30,834.46 m² ※病院、保育所、厨房施設敷地を含む

構造・面積 鉄筋コンクリート造(4階建) 建床 3,093.25 m² 延床 6,490.39 m²

補助対象部分：2階 精神科デイ・ケア施設部分(110.16 m²)

・建設スケジュール

令和5年5月

実施設計完了

令和6年7月

契約・着工

令和8年6月

竣工

令和8年度下期

移転開院

・事業費（建設工事）

5,245,870千円

＜市町村計画等＞

① 第2次田村市総合計画

第2編基本計画 第3章 安心と絆のまち（健康・医療・福祉）分野3-1 健康づくり・医療現状と課題

「医師の高齢化に伴い常勤医師（医科・歯科）数が減少し、診療体制が脆弱になりつつある中、令和元年度（2019年度）開設のたむら市民病院を拠点に市内外の医療機関との連携により、夜間診療、休日診療を含め、市民の高い期待に応える地域医療体制の充実が必要です。」

② 田村市震災等復興ビジョン（後期）基本計画

V「速やかな現状回復」 2幅広い生活支援と心のケア ④健康相談・心のケア

「地震や放射線の影響による長期間にわたる不安が続くことにより、市民のストレスは高まっている。ストレスによる健康への影響を軽減するため、震災直後から健康調査や健康相談を実施するとともに、専門家による心の相談を定期及び随時開催してきた。今後も継続して臨床心理士等専門家による心の相談を行い、市民の心のケアに努める。」

当面の事業概要

年 度	内 容	全体事業費	補助対象事業費	出来高
令和6年度	新病院建設工事(着手)	1,836,054千円	24,775千円	35%
令和7年度	新病院建設工事	2,360,642千円	31,851千円	80%(+45%)
令和8年度	新病院建設工事(竣工)	1,049,174千円	14,156千円	100%(+20%)
	備品購入(初度設備)	661千円	648千円	

地域の帰還・移住等環境整備との関係

たむら市民病院の既存施設では、建物の構造やスペース等の問題から精神科デイ・ケア施設の設置が困難なことから、新病院の建設に併せて施設を整備し、精神医療の体制強化を図る。

なお、旧避難指示区域等の外に整備する理由としては、当該地域内における医療需要を踏まえると、市内中心部の船引地区に整備をする方が、より効率的かつ持続的な医療提供が可能となるからである。

関連する事業の概要

・該当なし

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業

事業番号	
事業名	
交付団体	

基幹事業との関連性